

成美小だより

☆第41号☆
2022年11月29日

☆ 第2回学校運営協議会 ☆

11月25日（金）に第2回学校運営協議会を開催しました。委員の皆様にきらめき集会を参観していただいた後、協議を行いました。協議会ではまず校長から本年度前半の教育活動を振り返り、①新型コロナウイルス感染症にかかる本校の状況、②不登校及び不登校傾向児童について、③学校自己評価の結果、④児童の学習面の様子（学調結果）、⑤児童の生活面の様子（学調結果）等について説明しました。その後、委員の皆様から学校運営に関する多くの意見をいただきました。主な内容を下記に紹介します。



【きらめき集会について】

- ・聴く態度、発表する態度について、当たり前なのが当たり前きちんとできていた。また子どもたちの発表の様子が意欲的であり、日常的に熱心な指導をされていることが伺えた。発表内容を聞いていて温かな気持ちになった。
- ・学習で学び取ったことを次のステップとして行動に移すこと。子どもたちの思いを行動化につなげることが次の課題ではないか。
- ・ひとりひとりが「かがやく」基準は、子どもによって違っていて当たり前。個々の子どもたちの頑張りが認められる学校を目指してほしい。

【自己評価について】

- ・教職員が常に学校教育目標を意識して教育活動を行うことが肝心。自己評価の項目にも学校教育目標に関する観点が必要ではないか。教職員が常に学校教育目標を意識して教育活動に取り組むための手立てが必要。
- ・めざしている子ども像を具現化した姿として示すことが学校教育目標を浸透させることにつながるのではないか。

【不登校及び不登校傾向児童について】

- ・児童センター、適応教室、スクールカウンセラー、学童等の関係機関と連携を密にして不登校児童の対応にあたっているのは評価できる。今後もひとりひとりの子どもの適性に合わせた多様な学びの場を保障していくことが重要。

【その他】

- ・子どもたちに挨拶を指導する前提として、教職員も率先して挨拶ができる学校でありたい。来客者に対する挨拶など、教師は社会人としての一般的なマナーを意識して実践することが求められるのではないか。
- ・学校に来る機会は限られているが、毎回成美小だよりを配付してもらっているので様子がよくわかる。今日の子どもの様子も落ち着いている。先生達も気持ちよく挨拶をしてくれる。
- ・体育の服装に関する規定の変更については、時代のニーズに沿っていると思う。